

リモートセンサシステム
スイッチ信号 4点伝送タイプ

M18 伝送部: RPTA-1803
出力部: RPEA-1803N/P

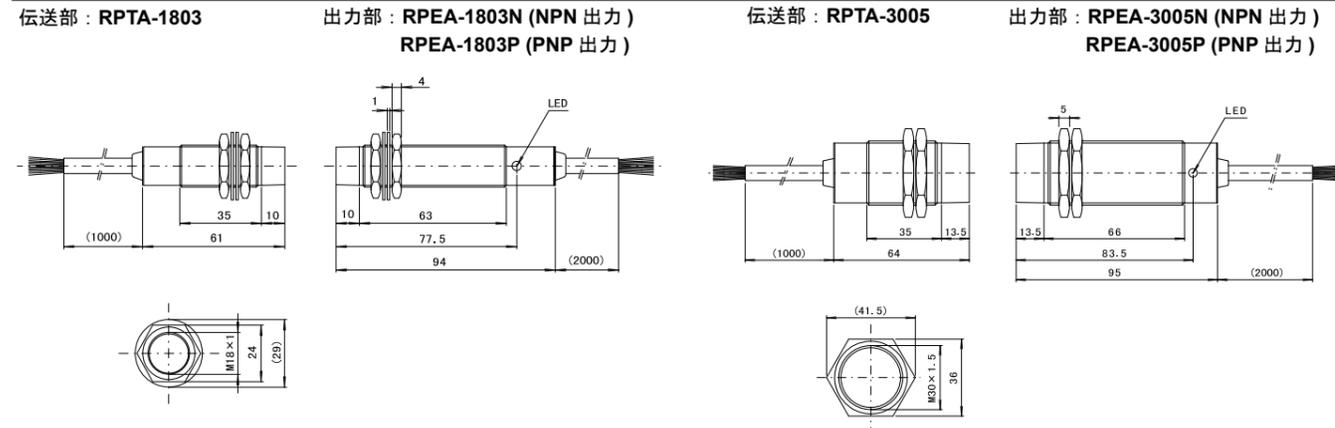
M30 伝送部: RPTA-3005
出力部: RPEA-3005N/P

設置に際してのご注意
(ご使用前に必ずお読みください。)

ご使用に際しては、取扱説明書をよくお読みになり、安全に対して十分に注意を払い、正しくお取り扱いください。

- ◆本製品に関する設置・保守・故障等の処置は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ◆電源は必ず、スイッチング電源等の定電圧電源をご使用ください。(全波整流電源など、定格以上のリップルが存在する電源を使用しますと、誤動作の原因になります。)
- ◆各ユニット間の配線は、配線図を参考にして、正しく結線してください。
- ◆誘導ノイズなどによる誤動作を避けるため、ケーブルは動力線や高圧機器から離して、配線してください。

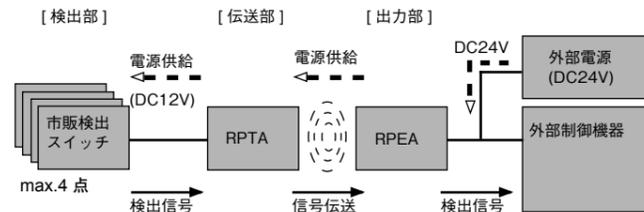
外形寸法図



仕様		
型式	RPTA-1803	RPEA-1803N/P
定格伝送距離	0.5 ~ 3mm	
許容軸ズレ	≤ ± 2.5mm	≤ ± 2mm
ドライブ電流	≤ 20mA	≤ 30mA
ドライブ電圧	DC 12 ± 1.5V	
使用電圧範囲	DC 24V ± 5% (リップル分含む)	
消費電流	170mA	
型式	RPTA-3005	RPEA-3005N/P
定格伝送距離	1 ~ 5mm	
許容軸ズレ	≤ ± 6mm	≤ ± 3mm
ドライブ電流	≤ 30mA	≤ 40mA
ドライブ電圧	DC 12 ± 1.5V	
使用電圧範囲	DC 24V ± 5% (リップル分含む)	
消費電流	≤ 150mA	

- ◆検出部として複数のセンサを使用する場合は、各センサの消費電流の合計値がドライブ電流以下になることを必ず確認してください。ドライブ電流値を超える場合は、接続するセンサの数を減らしてください。
- ◆ドライブ電流は、伝送距離、軸ズレにより変動します。(伝送領域図をご参照ください。)

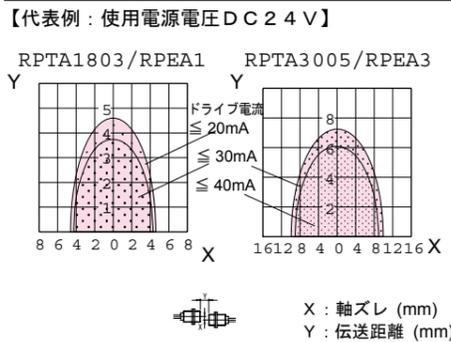
システム構成



【各部の役割】

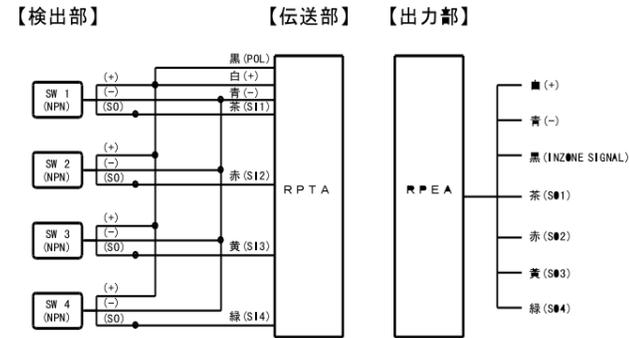
- 検出部: 市販の検出スイッチを接続して「検出信号」を「伝送部」に送ります。
- 伝送部: 「検出部」に電源を供給すると共に、「検出部」からの検出信号を非接触で「出力部」に伝送します。
- 出力部: 「伝送部」から伝送された検出信号を外部に出力すると共に、「検出部」・「伝送部」に必要な動作電源を供給します。

伝送領域図

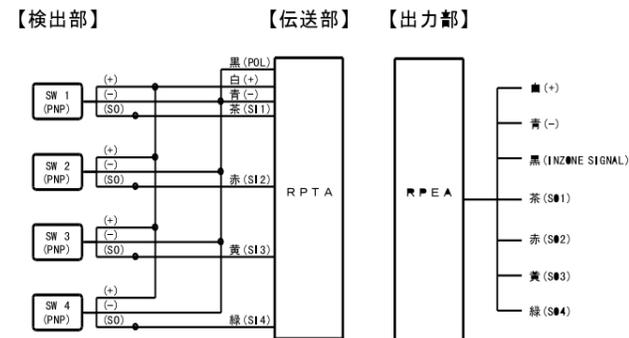


配線図

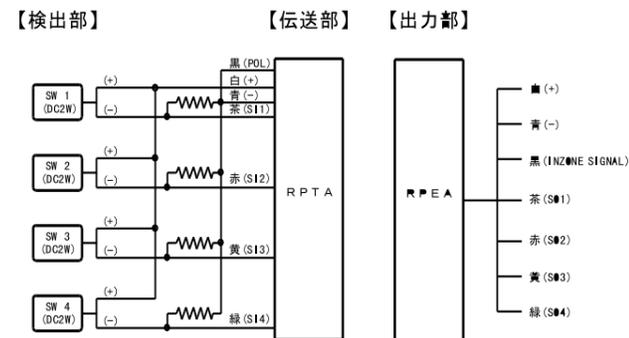
NPN型スイッチ接続仕様



PNP型スイッチ接続仕様



DC2W型スイッチ接続仕様 (有接点スイッチを含む)

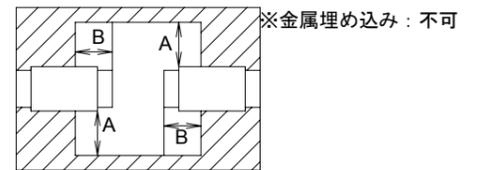


【ご注意】

- 「伝送部」の(-)ラインと「検出スイッチ」の(-)ラインは、必ず外付抵抗(1~2kΩ)を介して接続してください。
- 本製品はEMC指令に適合し、CEマークを表示しておりますが、サージに関する対応はしていません。
- 出力部のケーブル長が10mを超える配線でご使用になる場合は、過度のサージが加わらないよう対策を施してください。

周囲金属の影響

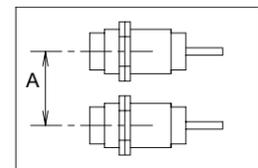
製品を金属に埋め込む場合は、周囲金属による影響を避けるため、必ず下表に示す値以上の空間を設けて設置してください。



型式	A (mm)	B (mm)
RPTA-1803	18	18
RPEA-1803N/P		
RPTA-3005	40	32
RPEA-3005N/P		

相互干渉

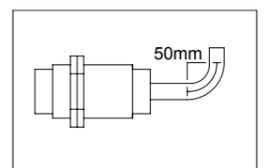
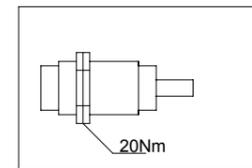
製品を並列して取り付ける際は、製品間の相互干渉を避けるため、必ず下表に示す値以上の空間を開けて設置してください。



型式	A (mm)
RPTA-1803	110
RPEA-1803N/P	
RPTA-3005	300
RPEA-3005N/P	

取り付け

付属ナットの締め付けトルクは20Nm (200kgf・cm)です。ケーブルを屈曲して配線する場合は、50mm以上の曲げ半径を確保してください。



* 取付の際は、ケーブルを過大な力で引っ張らないでください。

